



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 70 号
2020年1月20日
編集兼発行人
谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI

平成最後の初日の出

撮影者：大津 博昌
撮影日：平成 31 年 1 月 1 日
カメラ：Sony DSC-RX100
S 速度 1/125、絞り 8、焦点距離 28mm
撮影場所：高萩市高浜海岸
撮影余話：令和元年には存在しない初日の出を女性を入れて撮影。高浜海岸で毎年元日の朝、無病息災を願って行われる神事「神輿渡御」を撮影中、浜辺にいた女学生に頼まれ彼女達の躍動する姿を動画で撮影してあげました。そのお礼にとポーズを作ってくれたのがこの写真です。彼女たちの澁刺としたようすがなんと微笑ましく心温まる写真となりました。



新年を迎えて

支部長 住川 雅晴



あけましておめでとうございます。ご家族みなさまで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新天皇の「即位正礼殿の儀」が執り行われ、新しい時代が始まりました。

一方で、大型台風が二度にわたって関東地方を直撃し豪雨による甚大な被害をもたらしました。改めて自然エネルギーの強大さを見せつけられ、地球温暖化が現実のものであることを思い知らされた年でした。「パリ協定」からの離脱宣言、米中間の貿易関税闘争などトランプ米大統領の選挙対策戦略による混乱、世界各地でのポピュリズムの台頭、日韓関係の険悪化、教師間のいじめなど教育現場の乱れ、等々“謙虚”という言葉の意味を改めて噛みしめ直さねばならない一年でもありました。一方で、吉野彰博士のノーベル化学賞受賞という明るいニュースと共に、量子コンピュータの実用化、車の自動運転技術開発での人間性尊重への取り組みなど、新しいAIデジタル社会の幕開けを告げる年でもあったと思います。

今年は、創業 110 周年事業として「日立オリジンパーク(仮称)」の建設が始まります。「創業小屋」と「小平記念館」を大みか地区に移設し、「大みかクラブ」と「大みかゴルフクラブ」の4つの施設から構成されます。日立製作所の歴史を広く社会に紹介する複合大型施設となる予定です。新しい名所が創業の地に誕生することに期待したいと思います。

支部活動は関係者のご努力で年々活動の幅を広げてきました。会員皆様のシニアライフが更に豊かになることに貢献できると確信しております。

今年が会員並びにご家族みなさまにとりまして心豊かな年でありますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

茨城支部からのお知らせ

- ①第 69 期第 1 回日立社友クラブ理事会報告
 - ・会員候補者から 83 名が入会を承認され、本部会員総数は 7,182 名となった。
- ②2019 年 12 月茨城支部役員会報告
 - ・支部入会申込者 3 名の入会が承認された。
 - ・大みか拠点一時移転の報告
 日立オリジンパーク(仮称)建設に伴い、大みか事業所泉山クラブ内泉山ホールへ一時移転が決まった。2020 年 1 月 16 日引っ越し、2020 年 2 月 3 日活動開始。移転期間 2020 年 2 月～2021 年 6 月(予定)

茨城支部総会のご案内

2020 年度第 118 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。一年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

1. 期日：2020 年 5 月 22 日(金) 11:10～14:30
2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。

「理科室のおじさん」急募

日立理科クラブからのお知らせです。週 2 日間ほど、日立市内の小学校へ出向いて、理科授業の先生のお手伝い(準備・整備・後片付け)をしていただける方を募集しています。現在のおじさんの後継としてバトンタッチしたいです。「子ども好き・科学好き・モノづくり好き」な方、是非お願いします。

連絡先：日立理科クラブ 担当：畑山・香川
TEL・FAX:0294-24-3104
E-Mail: hsc-rikakurabu@net1.jway.ne.jp

映画「ある町の高い煙突」を応援する会に参加して

～春立や 大煙突の 映画成る～

内田 芳勲



昭和34年3月16日日立製作所日立工場に入社。検査部山手検査課に配属された。会

社の行き帰りに日立鉾山の150m余りの大煙突を眺め、海岸工場への移動は市中を走っていた鉾山のトロッコ電車を利用していった。

「ある町の高い煙突」との関わり

定年後シニアや子供にパソコンを教えるのを主事業とするNPO法人コミュニティNETひたちの設立、運営に関わり15年、平成28年の秋、松村克弥監督、プロデューサーの亀和夫、城之内景子の両氏が映画化の挨拶に来られた。「映画化の説明に県内を回り、いい企画と言ってもらっても、制作資金が集まるか見通しは立っていない」と松村監督。大煙突は日立鉾山の発展、日立製作所の発祥、日立市の工業都市として発展の礎であり、先人の苦闘と成功を描いた新田次郎原作のこの小説を是非映画化して欲しいと思った。映画化は、人口減、少子高齢化、シャッター商店街の増加が著しい日立市の活性化の一助にもなるのではと。そこで「然るべき所に話をしておくので、相談に乗ってもらっては」と話した。今から思うと誠に厚顔の至りだ。その会談は上首尾に終わり、松村監督は「映画化はこれで弾みがついた」と述懐されている。このような縁で応援する会のお手伝いをする事になった。

映画制作発表と記者会見

平成29年4月、日立シビックセンターに地域のマスコミ関係者を招いて「ある町の高い煙突」の映画制作発

表と記者会見が開かれた。日立市小川春樹市長、松村監督等より、「ある町の高い煙突」にかける熱い思いが語られた。「応援する会」の事務局長の原田実能さん(うのしまビル館主)と次長の私も同席。大煙突は平成5年に倒壊し、その雄姿はもう見られない。この映画で蘇るのを喜び、映画の成功を心底願った。



制作発表・記者会見
左より亀プロデューサー、筆者、松村監督
小川日立市長、原田事務局長

「ある町の高い煙突」を応援する会

平成29年5月「応援する会」が発足の目的を映画「ある町の高い煙突」の制作、上映などの業務を支援する、日立市の魅力を高めるための活動を行う」と定めた。応援する会のメンバーは日立市広報担当、県会議員、会社社長、大学関係者、NPO法人代表、映画・テレビ会社関係者、市民活動家の善男善女等多士済々の約20名が集まった。以降ほぼ毎月1回、松村監督等の制作委員会と合同会議を和気藹々で開催してきた。大資本の大手映画会社と異なり、このプロジェクトは制作資金を幅広い層より協賛をいただいで賄わねばならない。監督等は、大小を問わず精力的に「催し」や「集い」に出演し講演、PRに奔走、メンバーもポスターの掲示、チラシの配布、大煙突関連のマップを作製してツアーの開催、「応援する会」専

用のホームページを立上げて活動状況を広報、協賛の呼び掛け等々の活動を継続。最終的に約500の企業・団体、約650名の個人の協賛をいただいた。



応援する会のメンバー 右端が筆者

エキストラオーディション

平成30年2月、日立鉾山ゆかりの「共楽館」で映画に参加するエキストラのオーディションを開催。当日は厳寒にも拘わらず、県民の関心が深く予想をはるかに超える約300名の若男女が参加。参加者は松村監督等審査委員の前で一人30秒の演技を披露。この映画にかける地域の人々の熱意が感じられた一日だった。

各地で撮影開始、地元の支援も盛ん

平成30年5月にクランクイン、茨城県を主体に秋田県、栃木県などで撮影現場に立会うことができた。本職の俳優に加え、エキストラの迫真の演技にも心を打たれた。地元の人より茨城米一俵、農協より大量の野菜の差し入れがあり、「応援する会」の女性部が弁当を作ったり地元の手伝いも盛んになってきた。

東京「東映撮影所」で試写会

平成30年6月クランクアウト。そ

の後の編集を経て映画が完成。10月の試写会には、日鉾、日立製作所の関係者、小川日立市長、新田次郎のご子息の藤原正彦教授、その他関係者、「応援する会」の面々等約200名が出席し松村監督の舞台挨拶に続いて放映。初めてこの映画を見て、日立鉾山の先人の苦闘は日立精神に脈々と流れていると深い感銘を受けた。映画が終わると盛大な拍手が続いた。

謝恩試写会、全国ロードショー

平成31年2月、日立市民会館で映画に協賛をいただいた方々をお招きして試写会を開催。顔見知りの方々が多数出席され感動を口にされた。令和元年6月茨城県を皮切りに全国ロードショーが始まり、チケット販売にも協力。映画はネットで見るとなかなかの好評のようだ。DVDも12月に発売された。「応援する会」の活動もこれで一段落だ。



映画のチラシ

おわりに

「応援する会」は青壮年が中心、この中に後期高齢者が入り貴重な経験ができたのに感謝しつつ、次は小平浪平翁の偉業・遺徳と日立発展の歴史が映画化されるのを願って止まない。最後にこの映画に協賛のお申込み、チケット購入にご協力いただいた茨城支部の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

内田芳勲氏 連絡先

〒319-1114 那珂郡東海村須和間174-67
電話: 029-282-4557
メール: uchida-y@futaba-it.com

リレー随筆 (70)

怖かった上司の思い出 渡部 邦男



昔を知っている現役が「ナベさんの言う「人間関係と絆」なんて昔の話ですよ」と話すように、いつ頃からパソコンを媒体とした人間関係に変わってしまったのか。厳しく鬼のように怖かった、言葉ではなく体で指導してくれた上司との出会いと、入社当時これでクビかと覚悟した2回の思い出を述べてみようと思う。

昭和 35 年 3 月、会津若松駅から汽車で日立に着いた。寮は古い木造二階建てで新入生は全員大広間でザコ寝。翌日、日立工場で入所式。約半月ほどの教育を経て職場配属。職場名は技術部。係は主任さんを頭に7名。その日は優しく迎えてくれた主任も翌日から厳しい顔。仕事は何かと思ったら、「これを読んで」と「製品読本」を渡され毎日日本読みと怒鳴られながらの電話取りが仕事。「嫌ならいつでも辞めろ」というのが主任の口癖。そんな日々が3ヶ月も続いた頃、主任から要点のメモを渡され「本社宛ての手紙を書け」との指示。初めての仕事で、高校で習った商業実務を活かすると自信を持って「貴社益々ご隆昌の趣〜」の書き出しの手紙を差し出すと、「社内に貴社益々なんて何だ。高校出てきて文章一つ書けないなら辞めっちまえ！」と目の前でビリビリ破かれてしまった。これでクビかと、その日はお先真っ暗。夕方主任から「家に来い」と社宅に連れていかれた。夕食が用意されておりクビになる時はご馳走されるのが慣習なのかと覚悟していると、「寮の飯はドンブリだろう。今夜は茶碗で飯をいっ

ぱい食って明日からまた頑張れ。期待してるぞ！」との言葉。こみ上げてくるもので夕食の味は判らなかつた。

2回目のクビ事件は入社二年目“京専入学試験”の年。社会人となり今更勉強なんかと、会社には悪いが、京専に入ろうなんていう気はサラサラ無かつた。強要？された受験も幸か不幸か二次試験も突破。主任も是非行かせてやりたいと応援してくれていたようだが、私は高校からのバドミントンに夢中で、前年に引き続き今年も国体に賭けていて予選を勝ち抜いた。時同じくして10月に京専最終試験が決まり、何と国体初日の10日後。主任に国体出場を申しでると「何を馬鹿なことを。国体なんて許さない。命令が聞けないのなら会社を辞めて行け」と。私は国体を選び、出発の朝、日立駅から電話を入れると、「今どこにいる。直ぐ会社にてこい。こなければクビだ！」という声を耳に団体列車に飛び乗り秋田へ向かった。結果は一回戦敗退。一応主任に電話を入れると、「戻ってこなくていい」の一言。これで完全にクビだと思っ



茨城代表で国体出場(右筆者)

たが、次の言葉に救われる。「戻ってくれば直ぐ仕事になる。実家でも何処でもいいから泊まって勉強し、試験の前日までに必ず戻ってこい」。ここまで考えてくれたのかと胸が熱くなった。なんとか合格して翌年京専に入学し、また技術部に戻ることができた。私が“人との出会い”を心の糧に65歳まで技術部一筋に勤め上げることができたのは、あの怖かった心のある主任のお蔭と、忘れられない。

同好会行事に参加して

「囲碁の会」 真鳥 岩男



社友クラブ活動に心血を注がれた前任者助川さんが昨年2月に急逝されました。ご冥福を祈ります。初代世話人の安藤さんからの勧めもあり、3代目の世話人を引き受けました。主な役割は毎月の例会と3か月毎の大会です。まず、茨ネットを通した活動PR兼募集や「囲碁の会」会員へのメールによる出欠連絡の要請と集計。参加者の持ち点を確認し対戦表を作成。当日は進行と入賞者への賞品授与。最後に、成績と参加者、対局状況、食事風景などの写真を貼りつけて悪戦苦闘しながらホームページへ掲載する報告書が完成した時には感激しました。

囲碁は布石で青写真を描き、ある時は戦いを挑み、リスクを察知すると急場をしのぎ、最終的に確保した地(領土)が多い方が勝利者のいわゆる国獲りゲームです。指と頭を働かせるので、ボケ防止に効果大であり、これからも打ち続けようと思います。

「卓球クラブ」 佐藤 孝



昨年4月に横浜から日立市に転居、好きな卓球をさせていただく所はないかと探していた時、縁があり、卓球クラブに入会させていただくこととなりました。入会して感じたのは、会員の皆さんが和気藹々と卓球を楽しんでいることでした。そして会員の何人かは対外試合にも積極

的に参加され腕試しと技量アップを図っていました。私も入会後に数回試合に参加しました。が、練習通りに試合運びができず残念な結果となってしまいうこともあり、自分なりに少しずつ改善していければいいかなと前向きに考えています。昨年、日立市では、茨城国体、実業団対抗戦等のトップ選手の卓球試合が開催されました。これらのプレーを観戦して一段と卓球に興味ができました。今後も、会員の皆さんと楽しんでやっていたいと思っています。

「勝田PC」 竹内 将人



退職後まもなく、「勝田PC教室」発足当初からの参加で、15年になります。今も毎月の講座が楽しみで通っています。現役時代はPC操作もままならず、いつも周りの皆さんのお世話になっている状態でした。“隣の席にいるのに何でメールするの？”と思ったりで、今思えば汗顔の至りです。それが、今ではPCトラブルをカスタマーセンターに電話して解決できるまでになりました。これも「勝田PC教室」に参加したお蔭でPCアレルギーもなくなったためと思います。今年度は某量販店のスマホ教室を招致し専門家の手ほどきで、「カメラ、動画、グーグルマップ、キャッシュレス決済」などを貸与されたスマホを使って実技体験学習しています。四苦八苦しながらもみんな楽しみながらの講座になっています。人生百年時代、進歩の目まぐるしい5Gの時代に少しでもついていけるように。

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第83回研修会【東京電力榊福島第一原発、他】

東京電力榊福島第一原子力発電所を見学します。
皆様の参加を歓迎します。

- ・開催日：3月3日(火)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大みか支店前)7:30
茨城交通日立南営業所(旧電鉄南営業所)7:45
- ・帰着：大甕駅前 18:45頃の予定
- ・会費：6,500円の予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：1月24日(金)
写真付きの身分証明書のコピー、住所、氏名、電話番号、乗車場所を連絡下さい。
- ・申込先：奥村 清
Tel: 090-1252-7396、Fax: 0294-36-0308
E-mail: kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

2. 第80回歩こう会【旧山手工場周辺を歩く】

日立駅を出発し、旧山手工場(日立インダストリアルプロダクツ日立事業所)でモータの製造工程を見学した後、旧共楽館(日立武道館)を訪ねます。途中桜の名所も巡ります。

- ・開催日：4月7日(火) 雨天4月13日(月)
- ・集合：日立駅中央口広場 10:00
- ・コース：日立駅前発→平和通り→日立市役所→桜塚の石碑→旧山手工場(見学)→熊野神社(昼食)→旧共楽館(見学)→桐木田市民広場→平和通り→日立駅着(約7km)
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：3月31日(火)
- ・申込先：石橋康正
Tel: 0294-37-0439、Fax: 0294-37-3725
E-mail: yasumasa_ishibashi@ybb.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場所	時間	備考
		2月	3月	4月			
野鳥・自然観察グループ	高原邦明 0294-53-7101 takahara173@nifty.com	17(月)			涸沼	9:00～	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			16(月)		高戸海岸	9:00～ 12:00	
				27(月)	奥久慈 憩いの森	9:00～ 12:00	
囲碁の会	日立地区 真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	12(水) 26(水)	11(水) 大会 25(水)	8(水) 22(水)	泉山拠点	10:00～ (大会 9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1000
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	28(金)	27(金)	24(金)			
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	17(月)	23(月)	27(月)	らぼーる ひたち	9:45～	参加費：¥1500/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@herb.ocn.ne.jp	5, 12, 19(水)	4, 11, 18(水)	1, 8, 15(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	3(月)	2(月)	6(月)	泉山拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohru92@road.ocn.ne.jp	7(金)	6(金)	3(金)	泉山拠点	9:00～ 12:00	参加費：¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	4(火)	5(木)	7(火)	泉山拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥200/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	13(木)	10(火)	14(火)	泉山拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	24(月)	24(火)	28(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費：¥700/回
	専門講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	27(木)	26(木)	23(木)	泉山拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

訃報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

手塚 彰	令和元年 7月 27日	満 75 歳
吉田 長生	令和元年 10月 12日	満 82 歳
鷹野 重威	令和元年 10月 20日	満 88 歳
柴田 孝則	令和元年 11月 11日	満 81 歳
渡辺 良二	令和元年 11月 22日	満 78 歳
松元 信昭	令和元年 11月 22日	満 77 歳
杉山 俊介	令和元年 12月 2日	満 76 歳
佐々木敏美	令和2年 1月 2日	満 85 歳

編集後記 内田さんが「ある町の高い煙突」を応援する会のメンバーとして縁の下の力持ち的存在で活動され、松村監督のもと立派な映画に仕上がった。全国の企業と住民の公害問題対策の先駆け事業であり改めて感動した。渡部さんの「怖かった上司の思い出」。日立の良さは教育熱心で、各職場にも人を育てる気風が強く、その育て方に個性の強い色々なスタイルがあった。その上司のお陰で魅力あるやさしさとユーモアある反骨精神旺盛なナベさんがあるんだ。 **谷口 正俊**